

# "加賀ぞうがん"を 科学しよう！

加賀ぞうがんって...

象嵌(ぞうがん)は、  
"金属に別の金属をはめ込んで装飾する"技法です。  
加賀藩では前田家が職人さんを集めて独自の発展を遂げ、  
「加賀の象嵌作品は強い衝撃を受けても外れない」と全国で知られていました。

金沢が誇る美しい伝統工芸には  
どんな科学が潜んでいるのかな？  
実際に見て！体験して！夏の思い出を作ろう！



金銀象嵌獅子香炉  
(公財)宗桂会蔵

日時

令和5年8月22日(火) 午前の部：9:30～11:30  
午後の部：13:30～15:30

当日は金沢子ども科学財団から会場までバスで送迎いたします  
午前の部：集合 8:50 解散 12:00 午後の部：集合 12:50 解散 16:00

主催

公益財団法人宗桂会  
公益財団法人金沢子ども科学財団

会場

宗桂会館  
(金沢市北陽台3丁目1番)

募集

小学4～6年生 各6人  
(応募多数の場合は抽選を行います)

参加費

300円  
(当日集金いたします)

内容

加賀ぞうがん作品見学後、  
オリジナルキーホルダーを作ります



申込

金沢子ども科学財団  
ホームページのイ  
ベントカレンダーから  
お申込みください



応募×切：8月16日(水)

お問合せ先：公益財団法人金沢子ども科学財団  
〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号  
(金沢市長土堀青少年交流センター3F)  
TEL：(076)221-2061 FAX：(076)221-2062  
メール：kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp